

「幸せの黄色い羽根」は、犯罪や非行のない幸福で明るい社会を願うシンボルです。



～地域を見守り・支えるスーパーボランティア～
保護司・更生保護女性会って知ってる？

更生ペンギンのサラちゃん

保護司・更生保護女性会とは、犯罪や非行をした人の立ち直りや、犯罪予防活動などを地域で支えるボランティアです。安全・安心な地域をつくるには、罪を犯した人が罪を償い、再発しようとしている人たちを地域で支える「更生保護」が重要です。

7月は、更生保護を目的とした「社会を明るくする運動」の強調月間・再犯防止啓発月間です。この機会に、犯罪や非行の防止と、更生しようとする人・支援をする人たちの活動を知っていただき、ぜひ皆さんの力をお貸しください。

立ち直りを支える地域の5つの仕組み

更生ペンギンのホゴちゃん

1 相談できる人がいる 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティア。地域の事情を理解し、保護観察官と一緒に、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、社会復帰する環境への働きかけなども行っています。



2 帰る場所がある 更生保護施設

刑務所を出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた指導や援助を行う民間の施設です。

5 優しく見守る人がいる 更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防活動や子どもたちの健全育成のための活動、子育て支援活動などを行うボランティア団体です。



4 先輩・友人がいる BBS会

さまざまな問題を抱える少年と、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。



3 働く場所がある 協力雇用主

犯罪や非行歴のため、仕事に就くことが難しい人たちを、その事情を理解した上で雇用し、立ち直りを支援する事業主です。



きっかけは子どもや地域との繋がり

「正直、最初は保護司の存在も知らなかった」と話す岩切さん。同席した皆さんも保護司や更生保護女性会、活動について把握していなかったと話していました。始めたきっかけもそれぞれで、教員やPTA役員、自治会、地域婦人会、母子保健推進員などの活動中に、先輩の保護司や更生保護女性会の人から、やってみないかと誘われたのが始まりでした。皆さんに共通している点は、若い頃から仕事や活動を通して子どもや地域と関わり、それを機会に保護司や更生保護女性会の活動に興味を持つていったことでした。

関わり方はいろいろ

「更生保護女性会の活動も、コロナ禍の影響や時代によって変化しています。再犯防止の活動も重要ですが、それと同じくらい重点を置いているのが『犯罪・非行の未然防止』です」と話す銘苅さんと柵原さん。更生保護女性会では、各中学校区の児童館や公民館で、地域の実情に即した非行問題などを話し合うミニ集会や、親子ふれあい行事、絵本の読み聞かせなどの活動に取

さまざまな立場から見守り続ける



「根っからの悪い子は、本当にいない」

と話す垣花さん。今まで約30年間、保護司活動を通してたくさんの人たちと関わってきたが、虐待を受けたり、または放置されたりと、いろいろな問題を抱えたことと犯罪や非行に走ってしまう子が多いと感じています。過ちを犯した人も、自分が認められて見守られている自覚を持てる、更生も早い。一番身近にいる家族や友人の支援が大きく、また、働く場所を見つけて自分で自信を持ち、住む場所や居場所を見つけていることにも繋がります」



り組んでいます。また、「お腹を満たす」ことで、子どもたちが非行に走るきっかけを軽減できることから、小学校低学年の子どもたちや、中学校生活に難しさを感じている子どもたちを対象に、「自分で朝ご飯を作ろう！」の活動も始めました。朝ご飯といっても難しいものではなく、ご飯を炊いて、何かおかずになる食材や海苔を使っておにぎりを作ったりと、自分ができることはやってみよう！という活動です。



問い合わせ
 ■中部南保護区保護司会(浦添市社会福祉センター2階) ☎(879)6017
 ■浦添市更生保護女性会(ハーモニーセンター内) ☎(874)5711